

「玄さんも新年をお祝い」 豊岡市マスコットの年賀状用イラストを作成



▲コウノトリと玄さんとコーちゃん



▲2017賀正

平成29年の年賀状用に豊岡市マスコットをデザインした3種類のイラストを作成しました。

①玄武岩の玄さんがコウノトリに乗って、コウノトリのコーちゃんと空を飛ぶ「コウノトリと玄さんとコーちゃん」②玄さんとコーちゃんとオオサンショウウオのオーちゃんがコウノトリに乗って空を飛ぶ「2017賀正」③石工職人の玄さんが「酉」の字の彫刻を作る「酉の字の彫刻と玄さん」。

市ホームページからダウンロードできます(営利目的での使用は申請が必要)。



▲酉の字の彫刻と玄さん

国内最大のお米コンクール金賞等受賞 生産者の受賞報告会を開催

第18回米・食味分析鑑定コンクール国際大会で、本市が推進する「コウノトリ育む農法」のお米生産者の青山直也さん(日高町山田)が国際総合部門で金賞、(有)グリーンいずし(出石町伊豆)が都道府県代表お米選手権で特別優秀賞を、それぞれ受賞しました。本大会のお米の出品数は5671点。食味値・整粒値、味度値、



▲受賞の喜びを語る青山さん(右)と(有)グリーンいずし代表の狩野さん

地方創生の取組みを視察

地方創生担当大臣来訪

11月20日、山本幸三地方創生担当大臣が、地方創生の取組みを視察するため、本市を訪れました。

換を行いました。本市では、今後もスピード感をもって地方創生の取組みを推進します。

当日は、城崎国際アートセンターやトヨオカカバンアルチザンアベニューなどを視察。城崎国際アートセンターでは、アーティスト・イン・レジデンスの取組みが高く評価されました。また、一般社団法人豊岡観光イノベーションの担当者、DMOの取組みについて活発な意見交



▲トヨオカカバンアルチザンアベニューを視察する山本大臣(右から2番目)

主な市政の動き

- 11月
 - 14日・豊岡市総合教育会議
 - 20日・地方創生担当大臣が本市視察
 - 25日・温泉総選挙2016「インバウンド部門(第1位)授賞式(渋谷区)」
 - 26日・映画「コウノトリ大作戦!」市民上映会
 - 28日・豊岡エキシビジョン2016「地方創生、その先の先」(千代田区)
 - 29日・新たな防災マップ説明会(豊岡地区)
 - 30日・豊岡稽古堂塾第3期生プラン発表会
- 12月
 - 1日・除雪隊発隊式
 - 「とよおか歩キンピック」クロージングセレモニー
 - 2日・市議会定例会開会(27日)
 - 5日・豊岡市障害者福祉計画策定委員会
 - 6日・「国連生物多様性条約第13回締約国会議」サイドイベントに職員派遣(メキシコ)

ワーナー・ブラザーズ映画とタイアップ

映画「コウノトリ大作戦」市民上映会開催



▲多くの観客で埋まった市民上映会の会場

11月26日、豊岡市民プラザで、映画「コウノトリ大作戦」(ワーナー・ブラザーズ映画配給)市民上映会を開催し、市民ら約550人が、笑いと驚き、そして家族の絆を描いた映画を楽しみました。

本市は、ワーナー・ブラザーズ映画とタイアップ契約を締結し、首都圏の映画館6館で、豊岡のPR映像を流すなど、この映画を通して、豊岡

の認知度アップと、本市への誘客促進を図っています。

上映会終了後、会場の外では、映画に登場したコウノトリのジュニアがお見送り。ジュニアは、子どもたちの人気者で、記念撮影会となりました。



▲子どもとジュニア

「恋活〜ラブ・コネクト」 supported by Kiss FM KOBE in 中井」開催

12月3日、Kiss FM KOBEの協力で、本市の独身男性と阪神地区の独身女性との出会いを創出するイベント「恋活〜ラブ・コネクト」を開催しました。

このイベントは「豊岡市地方創生総合戦略」の一環で、独身男女が、出石城下町で交流を深めながらカップルの成立を目指すものです。

参加者は、出石永楽館で自己紹介をした後に、気になる

人と城下町を散策。一つの地図をのぞき込みながらの散策で2人の距離も縮まり、パーティー会場では、連絡先を交換し合う光景があちこちで見られました。

参加した女性からは「出石には初めて来ました。男性に出石の見どころを案内していただき、とてもすてきな時間になりました」(出会いを大切にしたい)などの声がありました。



▲気になる人との会話も弾んだパーティー

中井市長の徒然日記 ⑩

やった、日本一!

快挙です。神鍋の若手農家、青山直也さんの無農薬・コウノトリ育むお米が、食味日本一に輝きました。

国内最大のお米のコンクール「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」に出品された、いずれも腕に覚えのある農家のお米5671件のうち、他のお一方とともに同率首位、頂点に立ちました。

お父上が亡くなられた後、専業農家になられてわずか7年目の偉業です。

さらに、この大会には、(有)グリーンいずし(狩野誠一社長)の減農薬・コウノトリ育むお米も出品されていて「都道府県代表お米選手権」部門の「特別優秀賞」を受賞。これは全出展米のうち同率69位になります。コウノトリ育む農法に取り組む、豊岡の農家のレベルの高さを全国に示しました。

審査当日、熊本県で開かれていた大会現場からは、市の職員の速報が続々と入ってきました。

ました。「やりました! 豊岡発! 最高賞です!」「感無量です!」「泣いています!」「!」マークだらけです。

後日、市長室に受賞の報告に來られました。お二人の共通の言葉です。「田んぼにやってくるコウノトリが、米作りへの意識をいっそう高めてくれたのだと思います」

先日、出勤途上の円山川堤防で、六方川の浅瀬に降り立ったコウノトリを見つけました。しばらくすると、もう1羽がスーッと滑空してきて、すぐ横に舞い降りました。周囲にはカモの群れ。25年前、みんなで見た夢が、今では日常的な風景になりました。

思わず振り向いて「ねえ、増井さん、池田さん、すごいことになりましたねえ」と言いたくなりました。一緒に野生復帰を進めてきた、コウノトリの郷公園長だった増井光子さんも、研究部長だった池田啓さんも、もうおられないのですが。

「うん、すごい、すごい」と今回の快挙を空の上から喜んでおられるに違いありません。